彦根東高校新聞
速報新聞
キマグレ
発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

周防苑子さん

彦根湖岸のアトリエカフェ「VOIDARART」／ガラスプロダクト「ハコミドリ」の代表

＃能登川中出身　＃新聞部　＃陸上部　＃滋賀　＃京都　＃大阪　＃東京　＃行動力があり過ぎる　＃人見知らない　＃声が大きい　＃人生で最も大切なものは逆境とよき友である

周防苑子さんは自身の高校時代を「授業中に雑誌を読んだり、内緒でバイトをしたりとみんなには勧められないようなことばかりしていた。周りからは浮いていたけど、みんなが面白がってくれたので自己主張しながらも楽しく過ごせていた」と振り返られた。

そんな周防さんは小学5年生までは暗い性格だったという。周防さんは自身が変わったきっかけについて「小学5年生の夏休みに絵の賞を受賞して二週間ハワイに絵の留学していた。そのことを休み明けの始業式でみんなに話したところ、打ち解けることができた。そこから自分の性格も明るくなった」と打ち明けられた。その後、中学校で生徒会長になり、勉学に励まれ、本校に入学されたそうだ。そして京都の芸術大学に進学、就職され、現在は滋賀県へ戻って仕事をされている。

周防さんは生徒へ向けて「東高にはお利口さんな子が多い。だからどこかで皮を破ることができたら良いと思う。私は芸術大学に進んで、今地域を盛り上げるために働いている。国公立に行く以外の道もあるということを覚えておいてほしい」と助言された。

総合教養講座 参加者紹介⑩

1月25日に本校2年生を対象とした総合教養講座が開催され、計20名の本校OBが登壇された。この面では周防さん、植田さんを紹介する。

植田仁さん

VISION合同会社CEO
StyleTableDAIKANYAMA雑貨セレクトショップ共同経営者

＃秦荘中出身　＃野球部　＃京都　＃カナダ　＃東京　＃アメリカ（カリフォルニア）　＃神奈川　＃歩くディズニーランド　＃松岡修造っぽい性格　など

植田さんは高校時代を「野球に一生懸命に取り組んでいた。そのおかげで3年生のときには4番でピッチャーを務めて夏の県大会でベスト4に進出した。しかし授業中によく居眠りし左右に揺れていたので『人間メトロノーム』というあだ名がつけられていた」と振り返られた。

植田さんは高校時代と社会人になってからを比べて「高校時代は3年間でこうなる、というかたちで目標とその期限が決められている。しかし社会人になると自分で目標と期限を考えなければならなくなる。社会人になってすぐのときは自分で期限や目標を決められる自信が持てなかった」と明かされた。

植田さんは生徒へ向けて「26歳になってしっかり目標と期限を決めようと思えるようになったが、もっと早くから決めていたら良かったと思っている。みんなには早くから目標と期限を自分で決められるような人になってほしい。また高校では1分1秒を大切にしながら過ごしてほしい」と助言された。